



栃木県民のための
地域精神医療情報ネットワーク誌

Okadai NEWS

令和4(2022)年 3月

vol.6



令和4(2022)年4月1日

栃木県立岡本台病院は

地方独立行政法人 栃木県立岡本台病院

として新たにスタートします！

Contents

- 特集：独法化について（その2）
- 連載：診察室より
- Okadai活動紹介：リハビリテーション科
- 関係機関紹介：栃木DARC（ダルク）
- 外来診療のご案内

写真：岡本台病院の桜

当院の敷地にはたくさんの桜の木があります。
毎年3月下旬ごろから咲き誇り、
憩いの場となっています。



敷地内 全面禁煙

当院では受動喫煙防止のため敷地内全面禁煙となっています。
受動喫煙の防止にご協力ください。

発行：栃木県立岡本台病院

特集 独法化について(その2)



栃木県立岡本台病院は令和4(2022)年4月1日から 地方独立行政法人として新たにスタートします。

県立岡本台病院は、昭和34(1959)年の開院以来、地域精神医療の基幹病院として、外来、入院診療による一般的な精神医療はもとより、精神科救急医療、アルコール・薬物等依存症医療、医療観察法医療といった専門的な医療にも取り組み、栃木県における精神医療の向上、発展に努めてまいりました。

近年は、更なる高齢化の進展、自然災害の頻発・激甚化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの社会環境の変化に加え、入院医療から地域生活への移行、働き方改革への対応など、精神医療を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした環境の変化に迅速に対応し、高度で専門的な精神医療を安定的に県民の皆様提供し続けていけるよう、柔軟で弾力的な運営を行うことができる「地方独立行政法人」に移行します。



4月1日から地方独立行政法人に移行するということですが、これまでのような「県立病院」でなくなるということですか？

県が設立する法人が運営するため、**県立病院であることに変わりありません。**引き続き県の精神科救急システムにおける中核的役割や、アルコール・薬物等の依存症医療の推進、医療観察法医療の提供など、県立病院としての使命と責任を果たしていきます。



増井院長



法人化で最も大きく変わる点は何ですか？

これまで以上に専門性の高い人材の確保、育成が可能となります。現在岡本台病院で働いている職員(事務、看護師、薬剤師など)は栃木県職員として採用され、大部分が人事異動で当院に勤務しています。法人化後は、岡本台病院として独自に採用する職員が増えていきますので、精神医療に携わることを志望する職員が集まり、ひいては患者サービスの向上に繋がるものと期待しています。



医療費の支払いなどは高くなりますか？

医療費は診療報酬制度で定められていますので、法人化により変わることは**ありません。**一方、民間病院と同様に、金融機関からの当院へのお振込みにつきましては、所定の手数料が発生いたします(これまでは県に準じた取扱いとなっておりました)。当院の利用者の皆様、その他関係者の皆様におかれましては、何卒ご理解の程、よろしくお願いたします。



医務局長
島田 直子

Naoko Shimada

◆資格・学会認定等

- ・精神保健指定医
- ・精神保健判定医
- ・臨床研修指導医
- ・日本精神神経学会専門医
- ・日本精神神経学会指導医

連載 診察室より

皆さんはやめたいのにやめられない、そういうものはありませんか？私があります。

でも多くの方が大なり小なりそういう経験があるのではないかと思います。自分の行動がコントロール出来ないのはつらいことですね。自分が本来やりたいことが出来なくなったり、希望する生活が送れなくなってきたら、ちょっと立ち止まってみませんか。

一息入れて自分の状況を振り返り、周りの状況もみてみましょう。何かつらい気持ちを抱えていないでしょうか。同じように悩んでいる人も大勢いるはず。その中で光明になるものが見つかるかもしれません。

岡本台病院にはアルコール・薬物依存症外来があり、診断と治療を行っています。まず困っていることを詳しく聞かせていただき、参考になる検査を行い、医学的観点から分かることをお伝えします。その上でどうしたらよいのかを一緒に考えていきます。依存症治療の主役はご本人です。私たちはご本人のこうしたいという希望が実現できるような援助に努めています。

自分らしい生活が送れるような一歩を踏み出すことをお手伝い出来ればと思います。ちょっと心配がある方からかなり大変な方まで、幅広く皆様のご相談をスタッフ一同でお待ちしています。

Okadai 活動紹介 リハビリテーション科

当院におけるリハビリテーション

作業療法

作業療法は、病気や障害と折り合いをつけながら、自分ができるようになりたいこと、できる必要があること、できることが期待されていることなどを家事、仕事、学業、趣味、遊び、対人交流、休養など日常生活のなかでの活動（作業）を通して実現していく、「ここからだを元気にする」リハビリテーションです。

薬物療法をはじめとする他の治療法と併せて、作業療法室や屋外などを利用して実施しています。

主な目的は、退院後に無理なく安定した生活を送ることです。



デイケア

対象

ここのリハビリテーションを前向きに考えている方で、現在通院中の方（他の病院・クリニックに通院中の方も利用可）

進め方

利用される方には一人一人に担当スタッフがつき、相談しながら体調や目標に合わせて参加日数・プログラムを決定し、個々の目標や目的に見合ったリハビリテーション活動を行います。基本的に週間プログラムに沿って活動しており、目標が同じような人たちが互いに援助しあえるよう、プログラムはグループ（サークル）制で行います。また、ヨガ・革細工など専門講師を招き、質の高いプログラムを実施しています（種目・講師は年度によって異なります）。

その他

家族同士の情報交換の場として年4回、花草会（はなそうかい）（家族会）を開催し、日常生活で困っていることについて話しあったり、家族が病気や障害・薬について学んでいます。

参加を希望される方は事前に主治医とご相談の上、ご連絡ください。見学・体験などデイケアスタッフが相談に応じます。

関係機関紹介 栃木 DARC (ダルク)

【栃木 DARC の歴史】

栃木 DARC は、平成 15 (2003) 年に那須町に開設されました。その後、平成 18 (2006) 年に宇都宮アウトパシエント、平成 22 (2010) 年に那珂川コミュニティファーム、平成 24 (2012) 年には女性施設 (PP) を開設し、県内各地に施設が作られました。平成 25 (2013) 年からステージ変更と併せて施設・生活拠点も変更（移動）する 3 ステージ制に変更後は、各施設を、1st Stage Center (那須)、2nd Stage Center (野木)、3rd Stage Center (宇都宮) と改めて現在の栃木 DARC になっています。

どの施設も、アルコール・薬物・ギャンブル等依存症の問題を抱えている人たちが利用しており、当事者スタッフを含めた利用者は、薬物の再利用防止はもちろん、薬物使用後に出現する、幻覚・妄想・幻聴・幻視などの精神症状の治療が欠かせません。令和 3 (2021) 年 11 月現在、栃木 DARC のすべての施設利用者総数は 66 名、回復に向けて共同生活・治療プログラムを受けています。

【こんなところでも活動しています】

栃木 DARC は特定非営利活動法人 (NPO 法人) で、一般社会に向けての特定非営利事業と施設事業を行っています。

特定非営利事業では、講演事業の一環として、依頼のあった学校や団体に向けて、その時点でできる限り正確な情報を施設メンバーのデータや体験談を交えながら伝え、一次予防としての乱用防止、二次予防の再乱用防止の一助に取り組んでいるとのことです。

保護観察所・少年院・刑務所などでも出張プログラムを行っているため、どこかで DARC の話を聞いたことがある方が、近くにいるかもしれません。



イベントでカホーン演奏をすることもあります。



【岡本台病院での依存症対応】

一方、岡本台病院では平成元 (1989) 年から、アルコール外来を開始し、入院での ARP (アルコールリハビリテーションプログラム) も行っていることから、栃木 DARC 入所者の精神科治療をお受けしています。

アルコール・薬物・ギャンブル等依存症の治療は、薬剤での治療には限界があり、断酒・クリーンな生活を続けるための生活環境や周囲の協力が欠かせません。治療と生活、その両輪がうまく連動できるよう、当院と DARC は協力し合い、再発予防に取り組んでいます。

外来診療のご案内

予約受付 電話番号 028-673-2211

診療受付時間【月～金曜日】 8:50～11:00

予約受付時間【月～金曜日】

- 初診予約 14:00～16:00
- 再診予約及び予約変更 12:00～16:00

■当院の外来は全て【予約制・主治医制】となっています。

初診・再診に関わらず、予約時間を守って受診していただくようお願いいたします。

■主治医によって受付順が前後することがありますので、ご了承ください。

■当院では医薬分業の一環として、外来患者様には【院外処方せん】をお薦めしています。詳しくは、主治医又は薬局にご相談ください。

外来担当医一覧

精神科一般外来

統合失調症、双極性障害、不安障害など、幅広い精神疾患に対し、精神療法や薬物療法を用いて治療に当たります。

	月	火	水	木	金
初診	(交代制)	(交代制)	(交代制)	寺石*	(交代制)
再診	島田(達) 山口 小林 市川	田中 三浦 田崎 天野 岡田*	高橋 織田 豊田	竹内※ 白木 北林 寺石*	原 光野 田崎 清田*

*非常勤医師

※10時台の診察なし

アルコール・薬物専門外来

アルコール依存症の治療が中心ですが、栃木 DARC と協力して薬物依存症への支援や近年問題となりつつあるインターネット依存やギャンブル依存にも対応できるよう準備しています。

	月	火	水	木	金
初診		島田(直)		山口	田中
再診	島田(直)	山口	島田(直) 山口 田中	島田(直)	北林

※上表は令和4(2022)年4月1日からの予定表です。

変更の可能性がありますので、最新の情報につきましては病院ホームページにてご確認ください。

交通のご案内

交通機関をご利用の場合

- JR宇都宮線・岡本駅西口から徒歩15分(タクシーで5分)
- JR宇都宮駅からタクシーで15分
- 宝木団地発(JR宇都宮駅経由)の関東バス「奈坪台中央(奈坪台)」行き「金井台中」下車徒歩5分、又は「釜井台団地」行き「釜井台団地入口」下車徒歩10分

お車をご利用の場合

- 東北自動車道、宇都宮ICから30分
- 北関東自動車道、上三川ICから30分



精神科救急医療相談電話のご案内

夜間・休日に具合が悪くなり、かかりつけの医療機関に相談できないときは、下記の精神科救急医療相談電話にご相談ください。

☎ **0570-666-990** 平日/17:00～22:00 土日祝日/10:00～22:00

編集後記

地方独立行政法人化とともに、4月1日から当院のホームページもリニューアルいたします(新HPのURL: <https://okamotodai.jp>)。透明性の高い病院運営を目指して、患者さん、ご家族、関係機関の皆様にとって、「分かりやすい」はもちろんのこと、『見たくなる』、『役に立つ』コンテンツを提供してまいります。(広聴広報委員会)

本誌に対するご感想やご意見等をお待ちしております。下記 Email アドレス宛てにご連絡ください。

Email: okamotodai@pref.tochigi.lg.jp (~R4.3.31)
info@okamotodai.jp (R4.4.1~)

※R4.4.1以降は右記のQRコードを読み取りいただいても結構です。



栃木県立 岡本台病院

〒329-1104 宇都宮市下岡本町2162
TEL 028-673-2211 FAX 028-673-2214



【岡本台病院新HP※】
※R4.4.1以降に公開します